



と い で の

校訓 「自立・創造・敬愛」

高岡市立戸出東部小学校
令和6年8月27日発行

1 学期・学校評価より

教 頭

日頃より本校の教育活動にご協力いただき、ありがとうございます。

1学期末に実施いたしました学校評価の結果をここにお知らせします。

1 学校に行くのが楽しい 児 **89.9%** 保 **92.4%**

「学校に行くのが楽しい」と答えた児童の割合は 89.9%、「子供は、学校に行くのを楽しみにしている」と答えた保護者の割合は 92.4%でした。昨年度より肯定的な回答をした児童・保護者の割合が共に増えています。（児童 0.7%↑、保護者 4.0%↑）コロナ禍を通じて再認識された学校の役割を踏まえた多様な教育活動の実施や学校行事の成功が結果に繋がっていると考えられます。また、共通の質問項目において児童・保護者の評価を比較すると、ほぼ全ての項目において、児童の肯定的評価が保護者の肯定的評価を上回るという結果でしたが、唯一この項目だけが保護者の評価が児童の評価を上回りました。今後も教職員一丸となり「学校に行くのが楽しい」と思える学校づくりに取り組んでいきます。

2 気持ちのよい挨拶や返事をしている 児 **90.4%** 保 **77.3%**

3 元気に運動をしている 児 **94.2%** 保 **88.6%**

4 自分から学習をしている 児 **90.4%** 保 **70.8%**

「気持ちのよい挨拶や返事をしている」では、保護者の評価が児童の評価より 13 ポイント程低いという結果でした。学校生活においては挨拶・返事ができているが、家庭や地域においては十分でないと感じることがあります。相手意識をもち、学校・家庭・地域で気持ちのよい挨拶や返事ができる東部っ子を育てていきたいと考えています。「元気に運動をしている」では、学年が上がるにつれ、保護者の肯定的評価が低くなるという結果でした。今後は、さらに運動に親しむ機会の確保に努めていきます。「自分から学習をしている」では、保護者の評価が児童より 20 ポイント程低く、家庭においては自ら学習に取り組む様子が見られないことが伺えました。

上記2～4の項目は、本校の今年度のアクションプランに掲げている内容項目です。今回の評価を踏まえて今後さらに教育活動の工夫・改善を図っていきたいと考えます。

5 家庭学習を「学年×10分以上」している 児 **87.0%** 保 **73.0%**

6 学校であったことを家族で話している 児 **88.5%** 保 **83.8%**

7 早寝（9時/9時半/10時）をしている 児 **81.3%** 保 **73.5%**

8 早起き（6時半まで）をしている 児 **88.9%** 保 **84.9%**

9 テレビやゲームの時間を決め守っている 児 **81.3%** 保 **48.6%**

10 きまりやルールを守って生活している 児 **94.7%** 保 **85.4%**

「学校であったことを家族で話している」と答えた児童・保護者の割合は共に8割以上でした。家庭のコミュニケーションを大切にしていることが分かりました。早寝・早起きについては、特に早寝の習慣をさらに意識していく必要があることが伺えました。成長に欠かすことができない睡眠時間をしっかりと確保することが大切です。「テレビやゲームの時間を決め守っている」では、保護者の評価が5割を下回っています。保護者記述においても、インターネットの使用、ゲームの時間、学習専用端末の利用についての意見がみられました。また、「テレビやゲームの時間を決め守っている」児童は家庭学習を「学年×10分以上」しているという評価でした。さらに、「きまりやルールを守って生活している」児童は、「気持ちのよい挨拶・返事をしている」「自分から学習をしている」「早寝をしている」の評価が高く、規律ある生活が、学校生活全般に繋がっていると考えられました。

今学期も、児童の健やかな成長を目指し、教職員一同力を合わせていきます。ご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

